

1月

新着本の紹介



青字は児童書

予約の受付は、配架する**1月4日、午後1時**からです。

書名	著者名	内容
常設展示室	原田 マハ	パリ、NY、東京。世界各地の美術館で、人生の岐路に立つ人々が出会う、運命を変える一枚。アート小説の第一人者が、美術館の片隅で繰り広げられる人間ドラマを描く短篇集。
昨日がなければ明日もない	宮部 みゆき	『希望荘』以来2年ぶりの杉村三郎シリーズ第5弾となります。中篇3本を収録する本書のテーマは、「杉村vs. "ちょっと困った"女たち」。自殺未遂をし消息を絶った主婦、訳ありの家庭の訳ありの新婦、自己中なシングルマザーを相手に、杉村が奮闘します。
本と鍵の季節	米澤 穂信	堀川次郎は高校二年の図書委員。利用者のほとんどいない放課後の図書室で、同じく図書委員の松倉詩門(しもん)と当番を務めている。そんなある日、図書委員を引退した先輩女子が訪ねてきた。放課後の図書室に持ち込まれる謎に、男子高校生ふたりが挑む全六編。爽やかでほんのりピターな米澤穂信の図書室ミステリ、開幕!
キンモクセイ	今野 敏	キャリア官僚の連続不審死、日米合同委員会と公安組織“ゼロ”の暗躍、そしてコードネーム“キンモクセイ”をつなぐ糸とは? 日米関係の闇に挑む、著者初の警察インテリジェンス小説!
草々不一	朝井 まかて	身分としきたりに縛られた、武家の暮らし。仇討ち、就活、婿入り、剣術、罪と罰…。切なくも可らしい人生の諸相を描いた、時代小説短編集。
夜汐	東山 彰良	文久3年。苦界に沈んだ幼馴染みを救うため、やくざの賭場から大金をせしめた蓬八。新選組の一員として身を隠すことにした蓬八に、報復として殺し屋「夜汐」が差し向けられ…。
遠きにありて	西川 美和	スポーツ観戦が唯一の趣味の映画監督・西川美和が、その悲喜こもごもを温かくも鋭く綴ったスポーツエッセイ。カーブ愛溢れるエッセイも収録。

<p>人生100年時代の 年金戦略</p>	<p>田村 正之</p>	<p>長寿化時代の最大の支えは、必ず死ぬまでもらい続けることができ、インフレにもある程度ついていってくれる公的年金。個人型・企業型DC、イデコなどを総合的に組合せ、長く豊かに暮らす方法を紹介する。</p>
<p>かいけつゾロリ ロボット大さくせん</p>	<p>原 ゆたか</p>	<p>かんちがいから、イシシとケンカをしてしまったゾロリとノシシ。そのとき、うちゅうで大じけんのニュースが！ゾロリたちはイシシとなかなかおりすることができるのか？そして、ロボットにのりこんで、うちゅうの大じけんをかいけつできるのか？</p>
<p>ほんやのポンチョ</p>	<p>にしのあきひろ</p>	<p>ほんやの店主・ポンチョは、みんなのお手伝いばかり。お客が来ないことを気にもせず、読書をしては本に折り目をつけています。そんなほんやに、ある日ひとりの小さな女の子がやってきます。手に取った本は、ポンチョがしるしを入れてしまった「しるし本」。売れないはずの「しるし本」が、この女の子のひとことをきっかけに輝きだします。しかし、この先に待っているのは・・・</p>

※NHKテレビテキスト

「きょうの料理」「すてきにハンドメイド」「きょうの健康」も貸し出ししています。